

事業番号	事務事業名	お試しオフィス企業誘致事業				所管課名	地域振興部中山間地域振興室	所属長名	小田 和歳
	方向性	4	新たな可能性に挑む				係・グループ名	中山間地域振興係	
	重点施策	2	市民が主役！チャレンジを応援する				根拠法令等	お試しサテライトオフィス推進要綱(総務省)	
	施策方針	2	新たなビジネスを創出する起業・創業の支援				基本事業		
予算科目	会計	01	款	02	項	01	目	11	事業1 事業2 経・臨
	一般会計		総務費		総務管理費		コミュニティ振興費	009	53 臨
予算上の事業名									
中山間地域振興事業(政策)									

1 事務事業の概要

①事業期間	②事業内容(事業概要を簡潔に記載。期間限定複数年度は全体の事業計画を記載)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (令和元 年度～ 5 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	(1)吉和地域での創業を促進させるお試しオフィスの利用促進 (2)サテライトオフィス等の企業誘致による交流人口の拡大や関係人口の創出 (H30年度)吉和へのサテライトオフィス誘致の可能性調査 (令和元年度)誘致戦略の検討、お試しオフィスの開設、物件の掘り起こし (令和2年度)お試しオフィスの運営、サテライトオフィス誘致活動(廿日市市、広島市) (令和3～5年度)お試しオフィスの運営、サテライトオフィス誘致活動(福岡市、大阪市、東京等)	サテライトオフィスは、地方創生や働き方改革の一環として、国が積極的に推進しており、都市圏から地方へヒト・情報の流れを創り出し、新たなビジネスや関係人口の創出に結びつけようとする取組である。吉和地域では、若者流出、少子高齢化の進展が著しく、持続可能な地域づくりを進めていくうえで、移住・関係人口の増加に取り組む必要がある。

2 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

主な活動内容	活動指標(活動の規模)	単位	区分	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
・お試しオフィスの運営(取組周知・利用者の受入) ・アンケート調査によるニーズ把握 ・企業訪問等による営業活動	→ ア facebookページ「廿日市市森のサテライトオフィスPJ」のいいね！数	人	目標 実績	— 148	— 192	250 190	300	350
	→ イ お試しオフィスの利用回数	社	目標 実績	— —	— 1	5 3	5	5
	→ ウ 企業訪問等の実施	社	目標 実績	— —	— 7	20 1	20	20
対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の規模)	単位	区分	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
【対象】IT企業、フリーランス、テレワーク導入企業(予定を含む)など 【取組順位】 ①広島市内、廿日市沿岸部に所在する企業 ②中国5県に所在する企業 ③関西(大阪)、九州(福岡)、首都圏に所在する企業	→ ア 対象としている企業	社	見込 実績	— —	— 140	150 720	150	150
	→ イ		見込 実績					
	→ ウ		見込 実績					
意図(対象をどのような状態にしたいのか)	成果指標(意図の達成度)	単位	区分	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
地域外の企業等が吉和地域でサテライトオフィス等を開設している	→ ア サテライトオフィス等を開設した企業数	社	目標 実績	— 0	1 0	1 1	2	2
	→ イ		目標 実績					
	→ ウ		目標 実績					
結果(結びつく施策の意図は何か)	施策の成果指標	単位	区分	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
起業・創業ができる	→ ア 創業支援事業計画を活用した市内創業者	人	目標 実績	— 101	109 72	109 69	110	110
	→ イ		目標 実績					

3 事務事業の予算・コスト概要

年度	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	前年度比	令和4年度(予算)
事業費(A) (円)		2,519,000	2,151,100	1,865,027	-286,073	2,049,000
財源内訳	国庫支出金			924,000	924,000	
	県支出金				0	858,000
	市債				0	
	その他特財				0	
	一般財源	0	2,519,000	2,151,100	941,027	-1,210,073
業務延べ時間 (時間)		144	144	144	0	
人件費(B) (円)	0	659,000	620,000	659,000	39,000	0
トータルコスト(A+B)		3,178,000	2,771,100	2,524,027	-247,073	2,049,000
主な支出項目		令和3年度決算			備考	
廿日市市吉和お試しオフィス企業誘致業務委託料		1,848,000	円			
			円			
			円			
			円			

4 事務事業の環境変化・住民意見等

<p>① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか。開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか。</p> <p>・アウトドアブーム、健康指向の高まりに加え、コロナ禍の影響もあって、多くの人が中山間地域を訪れている。 ・地方創生、働き方改革、コロナ禍の影響により、テレワーク等の新たな働き方が普及しつつある。 ・一方で、サテライトオフィスは、JR沿線など比較的立地の良い場所に設置されているとともに、様々な業種が集まるシェアオフィスといった環境も選ばれている。</p>	<p>② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯</p> <p>これまでの経過として、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、お試しオフィスの利用ルールを見直すとともに、事業展開を改め、特に本市周辺(広島市等)や東京・大阪等に本社・支社機能を有する企業をターゲットとして調査を進めた。</p>	<p>③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか。</p> <p>・多くの人と出会うことができ、静かで集中できる環境は広島市内とは異なる大きな魅力(お試し利用者) ・製造業はテレワークは難しい(訪問企業) ・企画部門は環境を変えると良いアイデアが出るのではないと思う。また、研修(若い社員向け)での利用もいいかもしれない(訪問企業)</p>
--	---	---

5 事業評価(令和 3 年度決算の評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は市の政策体系に結びついているか。意図することが結果に結びついているか。)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	・吉和地域は、人口減少や少子高齢化に伴う地域力の衰退が大きな課題であり、交流人口の拡大や関係人口の創出、新たな雇用の場の確保といった観点から、地域外からの企業誘致が必要がある。
	② 市が関与する妥当性(この事業は市が行わなければならないものか。税金を投入して行うべき事業か。住民や地域民間等に任せるとはできないか。)		
有効性 評価	③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	・新型コロナウイルスの感染拡大によって在宅勤務が増加していることや、地域の地理的条件を踏まえ、ワーケーションなど新たな働き方が増加することを見据えた事業展開を再検討する必要がある。
	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか。成果を向上させる有効な手段はないか。何が原因で成果が向上しないのか。)		
効率性 評価	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は。目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか。)		
	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	・お試しオフィス制度については、低廉な価格で利用でき、テレワークが可能な滞在施設が確保できれば、路線変更について検討可能と考える。 ・誘致活動については、他の取組が無い中で、休止・廃止した場合、吉和地域への企業誘致の実現は困難となる。
	⑥ 類似事業との統合や連携による改善余地(類似事業(市の事業に限らない)はないか。類似事業との統合や連携によって成果をより向上させることはできないか。)		
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	・事業を進める上で必要な関係者、地域住民等との連携体制も整いつつある中、お試しオフィスの運営について削減可能なコストについては見直しを行う。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか。)		
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか。受益者負担は公平・公正となっているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	・お試しオフィスを無料又は実費負担(光熱費)のみで利用できる中、会社のテレワーク・ワーケーション用のサテライトオフィスが1件設置されたが、利用者負担について再考の余地はあると考える。 ・地域が恩恵を受けられるよう、企業等の誘致の実現に向けて取組を進める。

6 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果	② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																						
<table style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:15%;">A 目的妥当性</td> <td style="width:15%;"><input type="checkbox"/> 適切</td> <td style="width:15%;"><input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地有り</td> </tr> <tr> <td>B 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地有り</td> </tr> <tr> <td>C 効率性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地有り</td> </tr> <tr> <td>D 公平性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地有り</td> </tr> </table>	A 目的妥当性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地有り	B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地有り	C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地有り	D 公平性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地有り	<p>近年、在宅勤務など、場所や時間にとらわれない働き方である「テレワーク」の導入が進んでいるが、一方で、サテライトオフィスは、JR沿線など比較的立地の良い場所に設置されているとともに、様々な業種が集まるシェアオフィスといった環境が選ばれている。 吉和地域に企業を呼び込むためには、吉和ならではの「魅力」が必要であり、今後は「ワーク(仕事)」と「バケーション(休暇)」とを組み合わせた「ワーケーション」といった新たな働き方の導入も視野に入れながら、誘致活動を進めていく必要がある。</p>										
A 目的妥当性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地有り																					
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地有り																					
C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地有り																					
D 公平性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地有り																					
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 完了	<p style="text-align: center;">今後の改革改善案</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止や働き方改革の動きによって、サテライトオフィス以外の勤務形態(ワーケーション等)が広がりつつあることを踏まえ、企業単位のオフィス誘致活動を見直し、吉和地域の空き家・空き別荘を活用したワーケーション用のオフィス設置の誘致活動を強化していくことが有効であるとする。また、吉和地域を選択してもらうためにも、吉和の地域特性を生かした勤務形態を検討・提案していく必要がある。</p>																						
④ 改革改善案による成果・コストの期待効果																							
<table style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">コスト</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">削減</td> <td style="text-align: center;">維持</td> <td style="text-align: center;">増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">成果</td> <td style="text-align: center;">向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">維持</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(廃止・休止、完了の場合は記入不要)</p>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○				低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持	○																					
	低下																						
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																							
<ul style="list-style-type: none"> ・テレワークを実施する企業の実態把握 ・吉和地域内での受入物件の確保 ・ターゲットに届く媒体・手法による情報発信 																							